

デジタルアーカイブジャパン推進委員会（第4回）議事概要

日時：令和2年8月19日（水）16：00～17：10

場所：中央合同庁舎4号館共用第4特別会議室

【議事】

- 1、知的財産推進計画2020におけるデジタルアーカイブ施策に関連する記載について
- 2、令和2年度デジタルアーカイブに関する予算の状況について
- 3、実務者検討委員会の検討状況（3か年総括報告書等）について
- 4、ジャパンサーチ正式版公開について
- 5、産学官フォーラム（第4回）開催について
- 6、今後のデジタルアーカイブジャパン推進体制について
- 7、関係機関における取組状況について～工程表のフォローアップ等～

【概要】

- 1、知的財産推進計画2020におけるデジタルアーカイブ施策に関連する記載について
○知的財産戦略推進事務局より、資料1-1～1-3に基づき説明。
- 2、令和2年度デジタルアーカイブに関する予算の状況について
○知的財産戦略推進事務局より、資料2に基づき説明。
- 3、実務者検討委員会¹の検討状況（3か年総括報告書等）について
○国立情報学研究所高野教授（実務者検討委員会座長）より、実務者検討委員会の3年間の活動とその成果として取りまとめられた「3か年総括報告書」等について、当該会議体が目指した方向性、デジタルアーカイブ推進のためのジャパンサーチの位置付け、今後の議論の進め方等に加えて、最新技術を利用したデジタルアーカイブ化の意義と成果を、事例をもとに説明。
- 4、ジャパンサーチ正式版公開について
○国立国会図書館より、8月25日に正式版を公開するジャパンサーチについて、その概要や試験版からの改修改善点、正式版から実装する新機能等について資料4に基づき説明。
- 5、産学官フォーラム（第4回）開催について
○知的財産戦略推進事務局より、「ジャパンサーチの挑戦～ポストコロナ社会とデ

¹ 本委員会の下に実務的課題を討議するために設置されている会議体

「デジタルアーカイブ～」をテーマにオンライン形式で開催（9月10日（木）15時～17時）する旨、資料5に基づき説明。

6、今後のデジタルアーカイブジャパン推進体制について

- 知的財産戦略推進事務局より、9月4日をもって設置期限を迎える本委員会、および実務者検討委員会の今後の推進体制について資料6に基づき説明。
- 事務局提案通り、3年間、現体制を延長することについて、承認された。

7、関係機関における取組状況について～工程表のフォローアップ等～

- 知的財産戦略推進事務局、国立国会図書館、国立公文書館、文化庁、国立美術館、国立科学博物館、人間文化研究機構、放送番組センター、日本放送協会より、現状とこれからの取組等について資料7の工程表に基づき説明。

8、その他

- 国立美術館より、文化情報の共有、デジタルコンテンツの利活用の促進に取り組むに当たり、著作権の存在している著作物も多数あり、その情報発信には、著作権保護の観点に配慮して努めているところ、今後、著作物の利用拡大に関し、引き続き、その点の議論を深めていただきたい旨、発言がなされた。

- 次回会合については、実務者検討委員会での検討状況も踏まえつつ、令和3年の夏から秋頃に開催されることとされた。

以 上